

年月日

18
10
04ページ
11

NO.

和魂洋才 世界のリーダーへ

武田薬品工業 ④



する企業

国際化へがむ

「(武田薬品工業といふ)会社の戦略の変貌を、買収が最も端的に表している」。武田で渉外担当の執行役員を務める平手晴彦はこう分析する。

創薬手法や疾患領域への視界が開けた。
川閑史(現相談役)。当時、会長だった創業家出身の武田国勇は、09年に会長を退任した。「その後から長谷川が思い切

に、科学を深掘りする一つのきっかけになった」とみる。従来、武田は化学会合でつくる低分子医薬品を得意とし、研究開発対象とする病気も生活習慣病関連が多かつた。ミレニアム統合で新たな

に、「科学を深掘りする一つのきっかけになった」を切れるようになつた。戦略の方向性に応じて、必要なものを買うことを良とした」(平手)。長谷川は11年、新興国への販路拡大を目的にスイス製薬ナイコメッドを率

つて国際化に向け、かじり切れるようになつた。戦略の方向性に応じて、必要なものを買うことを良とした」(平手)。長谷川は11年、新興国への販路拡大を目的にスイス製薬ナイコメッドを率いていた。その後ウェバーは、アイルランド製薬大手シャイアの買収を決断する。

シャイアー統合過程に自信

現場よく知る

武田の現社長クリストフ・ウェバーは、こうした流れを引き継いでいる。大型M&A(合併・買収)を繰り返してきた武田だが、シャイアーの案件は実現すれば日本企業による海外企業の買収例として過去最高額となる

武田薬品工業による主なM&A

買収完了時期	対象企業	買収金額
2008年5月	米ミレニアム・ファーマシューティカルズ	約88億ドル (約8800億円)
11年9月	スイス・ナイコメッド	96億円 (約1兆円)
17年2月	米アリアド・ファーマシューティカルズ	約54億ドル (約6100億円)
19年前半(見込み)	アイルランド・シャイア	約460億円 (約6兆8000億円)

I)に困難も予想される中、ウェバーは「統合プランはきちんと練つていなければならない。2社のノウハウを合せる」と自信を示す。一方、平手はPMIの難しさを認めつつも、「ミレニアム買収時は(相手企業を)統合する能力が今とは段違いに低かった」と話す。裏を返せば、現在は田滑に進められる体制があるといううことだ。「今の外国籍のメンバーが多い執行役員体制は、非常に価値がある。欧米各地の現場をよく知る連中が、手ぐすねく引いて待っている」(平手)。(敬称略)